



家庭学習のすすめ



<皇子山中学校区版>

※こちらの面をよく見える所にはっておきましょう！

家庭学習の意義

家庭学習によって、次のような教育効果が期待できます！

- 1 学習内容が確かなものになる
- 2 学習の習慣が身につく
- 3 がまん強さ、根気、集中力がついてくる
- 4 家族のふれあいの場にもなる

家庭学習のポイント、保護者の役割

保護者の心がまえや関わり方で、家庭学習の成果もかわってきます。
子どもの学習意欲が高まるようなはたらきかけをお願いします。

- 1 決まった時間に毎日学習する
- 2 集中して学習する
- 3 学習環境をととのえる
- 4 子どものがんばりを認め、ほめて励ます

家庭学習の方法

- 1 学校の宿題に最初に取り組みさせてください。
時間があれば、自主学習や読書などに取り組みさせてください。
- 2 高学年になったら、自分で考えて取り組めるようになることが大切です。
- 3 勉強がおわったら、次の日の準備をする習慣をつけさせましょ

う。
鉛筆をけずり、準備物をしっかり用意し、次の日の学習予定を頭に入れておくことが大切です。

各学年の学習時間

- 1年生・2年生 20分～30分以上
3年生・4年生 40分～50分以上
5年生・6年生 60分～70分以上

※詳細は裏面をご覧ください。

各学年の家庭学習のポイント（1・2年生）

いっしょにしてやる気をおこす

いっしょに、学習内容ややり方を決めましょう。できたことをほめることで、意欲が高まります。

こんな時期です

- 何でも知りたがっています。
- がんばったこと、よいところをほめてほしいと思っています。
- 一人で学習することや、やり方を決めることはまだ難しいです。



ポイント

- (1) 子どもの学習に関心を 家でも勉強するという習慣をつけましょう。
 - ・少ない時間でもいっしょにやるのが望ましい。
 - ・いっしょにできないときは後で目を通す。
- (2) 学習環境を整える 学習机など、いつも決まった場所をつくりましょう。
 - ・テレビは消す。スマートフォンやゲーム機は別の場所に置く。
 - ・近くの部屋などで家族が見るときは音量を下げるなど協力する。
- (3) 家族と学校の協力 学校からの連絡やお便りをいっしょに確かめましょう。
 - ・毎日、連絡帳を開いてサインをする。



学年で身につけたい力

< 習慣づけ1年生 >

- ・鉛筆を正しく持って字を書くことができる。
- ・ひらがな、カタカナを読み、書くことができる。(ゆっくり、大きく、ていねいに)
- ・助詞「てにをは」を使い分けて文章を書くことができる。
- ・配当漢字(80字)のすべてを読み、9割以上の漢字を書くことができる。
- ・たし算やひき算が正確にできる。
- ・時計(アナログ)を見て、何時何分か読むことができる。
- ・大きな声ではっきり話したり読んだりすることができる。
- ・絵本や簡単な読み物に親しむ。

< 興味を広げる2年生 >

- ・配当漢字(160字)のすべてを読み、8割以上の漢字を書くことができる。
- ・3位数までのたし算、ひき算ができる。
- ・順序に関係なく九九をすらすら言うことができる。
- ・定規を使って筆算の線をきれいに引き、計算する。
- ・時間と時刻の意味がわかる。
- ・決められた長さの直線を正確に引くことができる。
- ・自分の住む地域の様子や身近な生き物(草花、虫)などに興味や関心を持つ。
- ・順序よく話すことができる。
- ・読書に親しむことができる。